

発行日
2019年
9月1日

さくっと 朔人

発行：社会福祉法人 朔風
札幌市中央区南 19 条西 8 丁目
TEL.011-533-3933
編集：朔風法人本部
発行責任者：森本 千尋

障がい者が地域で安心して快適に暮らすには、地域での生活基盤の整備とそれを担う人材の確保や充実が必要です。

今回は、社会全体の高齢化が進む中、家族等が元気なうちから独立して暮らせるような「生活の場」に焦点をあて、紹介していきたいと思います。

暮らしを支える

グループホーム（共同生活援助事業所）で暮らす

朔風では「暮らしの場」として、高齢者対応の「そら」を除く介護サービス包括型のグループホームを札幌市内5区において10ヶ所運営しています。

夜間支援のあるタイプ、ないタイプと2種類がありますが、どちらも「明るく、ほっとできる自分の家」であること、「家庭的な温かい雰囲気」が感じられる暮らしを目指し、日常生活の支援を行っています。各事業所には世話人や生活支援員がおり、食事の提供や金銭・健康の管理のほか日常生活の中で起きる様々な課題に対して、暮らす人と一緒に考えながら歩んでいます。

夜間支援のあるタイプでは、利用者の就寝後も対応ができるよう世話人が夜間も常駐しています。夜間支援がないタイプにおいても、緊急時に対応できる体制を取っており、安全・安心なグループホームを心がけています。

平成元年にグループホーム制度ができた時は、軽度、就労を想定した、4～5名の家庭的な「家」「普通のくらし」でした。今は、支援区分1～区分6までの多様な利用者に対応するために消防法、建築基準法の厳しい縛りがあり「施設」と同じ取扱いになりました。

【利 用】

- ・支援区分1から利用できます。
- ・役所の窓口でグループホーム利用の「支給決定」を受けます。
- ・寮費(家賃、食費、光熱水費、消耗品費)がかかります。
- ・移動支援を使って外出したり、自由に帰省することができます。
- ・夜間支援ありと、夜間支援なしがあります。
- ・体験利用も同じ「支給決定」必要。区分1から利用できます。
- ・体験は1回につき1日～30日以内。年間50日利用できます。
- ・体験利用した日数分の寮費負担があります。